

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2022年6月9日まで（2017年7月31日設定）	
運用方針	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。なお、為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該通貨との相関等を勘案し、他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。	
主要運用対象	ベビーファンド	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）

第1期（決算日：2017年12月11日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）」は、去る12月11日に第1期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

 **MUFG**
三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufig.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル **TEL. 0120-151034**
 (9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分 配 金	騰 落 率	中 率			
(設定日)	円	円		%	%		百万円
2017年7月31日	10,000	—	—	—	—	—	290
1期(2017年12月11日)	10,001	973	9.7	89.8	—	—	726

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率	率		
(設定日)	円		%	%	%
2017年7月31日	10,000	—	—	—	—
8月末	9,995	△0.1		96.9	—
9月末	10,006	0.1		94.3	—
10月末	10,270	2.7		96.0	—
11月末	10,916	9.2		97.0	—
(期 末)					
2017年12月11日	10,974	9.7		89.8	—

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

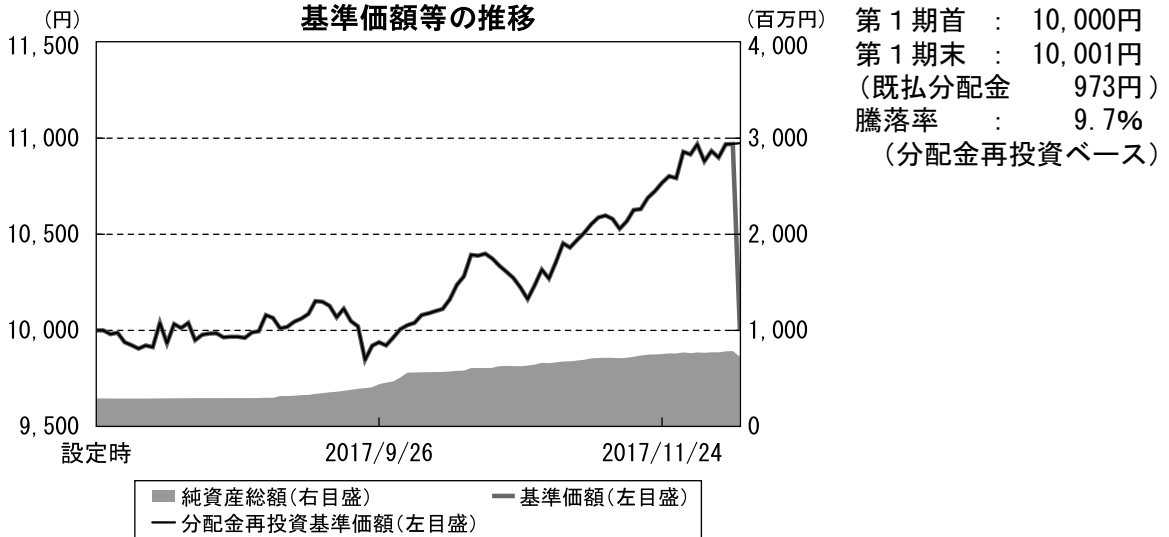
運用経過

当期中の基準価額等の推移について

（第1期：2017/7/31～2017/12/11）

基準価額の動き

基準価額は設定時に比べ9.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の変動要因

上昇要因

世界主要国の株式市場が堅調に推移したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

（第1期：2017/7/31～2017/12/11）

◎株式市況

- ・当期の世界の株式市場は上昇しました。北朝鮮による軍事行動をめぐる不透明感や、スペインで発生したテロなどを受けて、地政学リスクの高まりから下落する局面もありましたが、良好なマクロ指標や企業の2017年7－9月期四半期決算が良好な内容となったことなどが市況の主要な上昇要因となりました。当ファンドの投資対象であるビューティー・ビジネス関連企業の当該期決算は、概ね市場全体を上回る好決算となったことで株価も強含みしました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）>

- ・ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行いました。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかりました。為替市況の変動が基準価額に与える影響は限定的となりました。

<ワールド・ビューティー・マザーファンド>

基準価額は設定時に比べ12.8%の上昇となりました。

- ・投資対象企業への取材等を通して最新の美容トレンドを追求してまいりました。
- ・「インスタ映え」をするためのカラーコスメ需要が以前は強含んでいましたが、足元ではスキンケア製品の需要が相対的に高まっていることを受けて、関連銘柄の組み入れを高めました。また、プレステージブランドの選好が相対的に高まっていることを背景に、販売製品に占める同カテゴリー比率の高い銘柄の組み入れを高めると同時に、需要が急増しているアジア、特に中国での販売に強みのある企業などの比率も併せて高めました。更に、シワ対策などの機能性を高めるための研究を行っている化粧品原材料メーカーなどへの投資も積極化しました。
- ・組入銘柄数については株価の水準や成長性を勘案して投資対象を選別した結果、ポートフォリオ構築当初の52銘柄から増加し期末は55銘柄となりました。
- ・前記の投資行動に加え、米ドルなど主要通貨が対円で上昇したことなどにより、基準価額は上昇しました。パフォーマンスに寄与・影響した主な銘柄は以下の通りです。

（プラス要因）

◎銘柄

- ・ALIGN TECHNOLOGY INC（米国、ヘルスケア機器・サービス）：マウスピース型歯列矯正器具インビザラインの開発・販売を行っています。2017年7－9月期決算が市場予想を上回

ったことや、10－12月期の見通しも良好であったことなどから株価は堅調に推移しました。

- ・ ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A（米国、家庭用品・パーソナル用品）：スキンケア、化粧品、香水、ヘアケア製品の世界大手。2017年7－9月期決算が、急速な中国事業拡大とミレニアル世代向けブランドの買収などが寄与して市場予想を上回ったことなどから株価は堅調に推移しました。

（マイナス要因）

◎ 銘柄

- ・ ULTA BEAUTY INC（米国、小売）：全米に多くの店舗を擁する大手化粧品販売チェーン。シェア低下に苦しむ百貨店などが化粧品の値引き販売を継続させるなど、競争環境が厳しくなってきたことなどから、株価は弱含んで推移しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第 1 期
	2017年7月31日～2017年12月11日
当期分配金 (対基準価額比率)	973 8.866%
当期の収益	853
当期の収益以外	119
翌期繰越分配対象額	0

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）>

◎今後の運用方針

- ・ マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。
- ・ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

<ワールド・ビューティー・マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・ 今後の世界の株式市場は、堅調な企業業績を受けて好調な地合いを保つと思われる一方で、相場をけん引している米国の税制改革案の動向によっては値動きの荒い展開となる可能性もあります。同法案は2018年以降の企業の設備投資等の行方を左右する為、特に重要であると考えられ、実現の可否に注目しています。一方、将来の段階的な米国の利上げに関してはほぼ株価に織り込まれていると考えられ、大きなサプライズにはならないと考えています。

◎今後の運用方針

- ・ 美容関連市場は、化粧品を中心に先進国の経済成長を上回る成長が見込まれる市場です。成長の源泉は、先進国での高齢化の進展に伴うアンチエイジング需要、新興国での所得増加による化粧品の普及等、社会構造の変化によるもので、今後も中長期にわたって成長の持続性が見込まれます。また、美容関連市場の商品については、先進国における高価格帯商品への需要シフトや、新興国における低価格帯から高価格帯までの幅広い需要拡大によって売上の増加が予想されることから、安定的な成長が見込めると考えます。
- ・ 当ファンドのポートフォリオ構築にあたっては、ビューティー・ビジネス関連企業が主に販売を行っている「地域」や、商品の「価格」、製品ブランド等の戦略を重点的に調査の上、美容関連市場の成長の恩恵を享受できると考えられる銘柄を中心に投資を行っています。今後も、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、美容関連市場の成長の恩恵を受けると判断した銘柄を選定します。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2017年7月31日～2017年12月11日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	68	0.668	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× （期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	（ 33 ）	（ 0.326 ）	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 33 ）	（ 0.326 ）	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 2 ）	（ 0.016 ）	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	26	0.255	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	（ 26 ）	（ 0.255 ）	有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	14	0.132	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	（ 14 ）	（ 0.132 ）	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	6	0.054	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 5 ）	（ 0.045 ）	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 0 ）	（ 0.001 ）	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	（ 1 ）	（ 0.008 ）	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	114	1.109	
期中の平均基準価額は、10,237円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年7月31日～2017年12月11日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ワールド・ビューティー・マザーファンド	千口 699,041	千円 712,324	千口 77,737	千円 87,146

○株式売買比率

(2017年7月31日～2017年12月11日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ワールド・ビューティー・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,316,178千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	779,695千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.68

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2017年7月31日～2017年12月11日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）>

該当事項はございません。

<ワールド・ビューティー・マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
株式	1,210	64	5.3	106	0.453658	0.4
為替直物取引	829	514	62.0	19	10	52.6

平均保有割合 66.9%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	1,268千円
うち利害関係人への支払額 (B)	40千円
(B) / (A)	3.2%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○ 自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年7月31日～2017年12月11日)

設定時残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 290	百万円 —	百万円 —	百万円 290	当初設定時における取得

○ 組入資産の明細

(2017年12月11日現在)

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
ワールド・ビューティー・マザーファンド		621,303	700,768

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○ 投資信託財産の構成

(2017年12月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ワールド・ビューティー・マザーファンド	千円 700,768	% 86.5
コール・ローン等、その他	109,735	13.5
投資信託財産総額	810,503	100.0

(注) ワールド・ビューティー・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産 (857,612千円) の投資信託財産総額 (1,404,027千円) に対する比率は61.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=113.65円	1 ユーロ=133.80円	1 イギリスポンド=152.29円	1 スイスフラン=114.52円
1 ノルウェークローネ=13.68円	1 オーストラリアドル=85.41円	1 香港ドル=14.56円	1 タイバーツ=3.48円

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2017年12月11日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,258,030,525
コール・ローン等	28,352,065
ワールド・ビューティ・マザーファンド(評価額)	700,768,533
未収入金	528,909,927
(B) 負債	531,878,661
未払金	455,567,067
未払収益分配金	70,647,563
未払解約金	2,332,891
未払信託報酬	3,324,869
未払利息	38
その他未払費用	6,233
(C) 純資産総額(A-B)	726,151,864
元本	726,079,792
次期繰越損益金	72,072
(D) 受益権総口数	726,079,792口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,001円

<注記事項>

- ①設定元本額 290,000,000円
 期中追加設定元本額 446,052,405円
 期中一部解約元本額 9,972,613円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0001円です。

②分配金の計算過程

項 目	2017年7月31日～ 2017年12月11日
費用控除後の配当等収益額	1,834,728円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	60,156,374円
収益調整金額	8,728,533円
分配準備積立金額	－円
当ファンドの分配対象収益額	70,719,635円
1万口当たり収益分配対象額	973円
1万口当たり分配金額	973円
収益分配金金額	70,647,563円

○損益の状況（2017年7月31日～2017年12月11日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 1,204
受取利息	37
支払利息	△ 1,241
(B) 有価証券売買損益	65,345,008
売買益	88,179,854
売買損	△22,834,846
(C) 信託報酬等	△ 3,352,702
(D) 当期損益金(A+B+C)	61,991,102
(E) 追加信託差損益金	8,728,533
(配当等相当額)	(△ 537)
(売買損益相当額)	(8,729,070)
(F) 計(D+E)	70,719,635
(G) 収益分配金	△70,647,563
次期繰越損益金(F+G)	72,072
追加信託差損益金	71,484
(売買損益相当額)	(71,484)
分配準備積立金	588

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金（税込み）	973円
-----------------	------

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2017年12月11日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お 知 ら せ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

ワールド・ビューティー・マザーファンド

《第1期》決算日2017年12月11日

[計算期間：2017年7月31日～2017年12月11日]

「ワールド・ビューティー・マザーファンド」は、12月11日に第1期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第1期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		騰	落			
(設定日)	円		%	%	%	百万円
2017年7月31日	10,000		—	—	—	297
1期(2017年12月11日)	11,279		12.8	93.1	—	1,304

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
(設定日) 2017年7月31日	円 10,000	% —	% —
8月末	10,008	0.1	97.3
9月末	10,184	1.8	94.7
10月末	10,461	4.6	96.7
11月末	11,127	11.3	97.0
(期 末) 2017年12月11日	11,279	12.8	93.1

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 騰落率は設定日比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

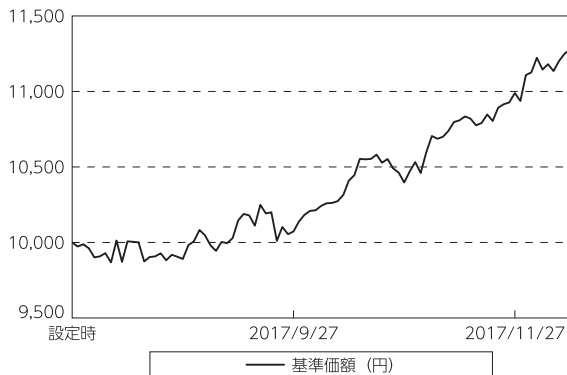
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は設定時に比べ12.8%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

◎株式市況

・当期の世界の株式市場は上昇しました。北朝鮮による軍事行動をめぐる不透明感や、スペインで発生したテロなどを受けて、地政学リスクの高まりから下落する局面もありましたが、良好なマクロ指標や企業の2017年7－9月期四半期決算が良好な内容となったことなどが市況の主要な上昇要因となりました。当ファンドの投資対象であるビューティー・ビジネス関連企業の当該期決算は、概ね市場全体を上回る好決算となったことで株価も強含みました。

◎為替市況

・主要通貨のうち米ドルやユーロ、英ポンドなどは、期を通してみると円に対して上昇しました。
 ・米ドルや英ポンドは2017年8月にかけて、利上げ観測が後退したことなどから円に対して下落したものの、9月には持ち直す動きとなりました。
 ・ユーロは欧州中央銀行による量的金融緩和政策が縮小されるとの見方が台頭したことなどから円に対して上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

・投資対象企業への取材等を通して最新の美容トレンドを追求してまいりました。

- ・「インスタ映え」をするためのカラーコスメ需要が以前は強含んでいましたが、足元ではスキンケア製品の需要が相対的に高まっていることを受けて、関連銘柄の組み入れを高めました。また、プレステージブランドの選好が相対的に高まっていることを背景に、販売製品に占める同カテゴリー比率の高い銘柄の組み入れを高めると同時に、需要が急増しているアジア、特に中国での販売に強みのある企業などの比率も併せて高めました。更に、シワ対策などの機能性を高めるための研究を行っている化粧品原材料メーカーなどへの投資も積極化しました。
- ・組入銘柄数については株価の水準や成長性を勘案して投資対象を選別した結果、ポートフォリオ構築当初の52銘柄から増加し期末は55銘柄となりました。
- ・前記の投資行動に加え、米ドルなど主要通貨が対円で上昇したことなどにより、基準価額は上昇しました。パフォーマンスに寄与・影響した主な銘柄は以下の通りです。

(プラス要因)

◎銘柄

- ・ALIGN TECHNOLOGY INC (米国、ヘルスケア機器・サービス)：マウスピース型歯列矯正器具インビザラインの開発・販売を行っています。2017年7-9月期決算が市場予想を上回ったことや、10-12月期の見通しも良好であったことなどから株価は堅調に推移しました。
- ・ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A (米国、家庭用品・パーソナル用品)：スキンケア、化粧品、香水、ヘアケア製品の世界大手。2017年7-9月期決算が、急速な中国事業拡大とミレニアル世代向けブランドの買収などが寄与して市場予想を上回ったことなどから株価は堅調に推移しました。

(マイナス要因)

◎銘柄

- ・ULTA BEAUTY INC (米国、小売)：全米に多くの店舗を擁する大手化粧品販売チェーン。シェア

低下に苦しむ百貨店などが化粧品の値引き販売を継続させるなど、競争環境が厳しくなってきたことなどから、株価は弱含んで推移しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・今後の世界の株式市場は、堅調な企業業績を受けて好調な地合いを保つと思われる一方で、相場をけん引している米国の税制改革案の動向によっては値動きの荒い展開となる可能性もあります。同法案は2018年以降の企業の設備投資等の行方を左右する為、特に重要であると考えられ、実現の可否に注目しています。一方、将来の段階的な米国の利上げに関してはほぼ株価に織り込まれていると考えられ、大きなサプライズにはならないと考えています。

◎今後の運用方針

- ・美容関連市場は、化粧品を中心に先進国の経済成長を上回る成長が見込まれる市場です。成長の源泉は、先進国での高齢化の進展に伴うアンチエイジング需要、新興国での所得増加による化粧品の普及等、社会構造の変化によるもので、今後も中長期にわたって成長の持続性が見込まれます。また、美容関連市場の商品については、先進国における高価格帯商品への需要シフトや、新興国における低価格帯から高価格帯までの幅広い需要拡大によって売上の増加が予想されることから、安定的な成長が見込めると考えます。
- ・当ファンドのポートフォリオ構築にあたっては、ビューティー・ビジネス関連企業が主に販売を行っている「地域」や、商品の「価格」、製品ブランド等の戦略を重点的に調査の上、美容関連市場の成長の恩恵を享受できると考えられる銘柄を中心に投資を行っています。今後も、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、美容関連市場の成長の恩恵を受けると判断した銘柄を選定します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年7月31日～2017年12月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 25 (25)	% 0.245 (0.245)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	13 (13)	0.126 (0.126)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	6 (6) (0)	0.060 (0.057) (0.003)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	44	0.431	
期中の平均基準価額は、10,356円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年7月31日～2017年12月11日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株 108 (△ 0.2)	千円 355,987 ()	千株 15	千円 63,600
	アメリカ	百株 861	千アメリカドル 3,910	百株 25	千アメリカドル 168
外 国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	49	508	2	30
	フランス	60	642	0.28	4
	イギリス	179	千イギリスポンド 843	28	千イギリスポンド 127
	スイス	73	千スイスフラン 735	—	千スイスフラン —
	ノルウェー	125	千ノルウェークローネ 1,097	—	千ノルウェークローネ —
	オーストラリア	66 (10)	千オーストラリアドル 38 (5)	—	千オーストラリアドル —
香港	1,060	千香港ドル 1,777	—	千香港ドル —	
タイ	1,970	千タイバーツ 3,024	—	千タイバーツ —	

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2017年7月31日～2017年12月11日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,316,178千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	779,695千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.68

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2017年7月31日～2017年12月11日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	1,210	64	5.3	106	0.453658	0.4
為替直物取引	829	514	62.0	19	10	52.6

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	1,698千円
うち利害関係人への支払額 (B)	62千円
(B) / (A)	3.7%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2017年12月11日現在)

国内株式

銘柄	当 期 末	
	株 数	評 価 額
	千株	千円
食料品 (2.9%)		
ヤクルト本社	1.2	10,392
繊維製品 (6.1%)		
グンゼ	2.7	15,633
ワコールホールディングス	1.7	6,154
化学 (77.3%)		
テイカ	6.1	17,812
花王	2.8	21,652
資生堂	10.6	58,448
ライオン	6.8	14,443
マンダム	6.9	26,220
ミルボン	0.6	4,806
ファンケル	7.7	25,679
コーセー	2.7	47,061
コタ	1.8	2,779
シーズ・ホールディングス	1.3	6,298
ポーラ・オルビスホールディングス	7.8	32,487

銘柄	当 期 末	
	株 数	評 価 額
	千株	千円
ノエビアホールディングス	1.4	11,550
アジュバンコスメジャパン	3.7	3,762
小林製薬	0.6	4,320
医薬品 (3.9%)		
ロート製薬	4.6	14,053
電気機器 (2.9%)		
ヤーマン	4.9	10,456
情報・通信業 (3.7%)		
アイスタイル	14.3	13,184
小売業 (3.2%)		
アイケイ	2.6	11,492
合 計	株 数 ・ 金 額	92 358,685
	銘柄数<比率>	21 <27.5%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
 (注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等
		評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	千アメリカドル	千円	
AVON PRODUCTS INC	270	56	6,399	家庭用品・パーソナル用品
COLGATE-PALMOLIVE CO	39	290	33,064	家庭用品・パーソナル用品
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	62	790	89,893	家庭用品・パーソナル用品
INTL FLAVORS & FRAGRANCES	14	217	24,750	素材
JOHNSON & JOHNSON	16	231	26,363	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
KIMBERLY-CLARK CORP	14	179	20,448	家庭用品・パーソナル用品
L BRANDS INC	23	135	15,434	小売
PROCTER & GAMBLE CO/THE	30	271	30,904	家庭用品・パーソナル用品
CLOROX COMPANY	15	229	26,062	家庭用品・パーソナル用品
ALIGN TECHNOLOGY INC	15	373	42,461	ヘルスケア機器・サービス
NUTRISYSTEM INC	45	234	26,638	小売
SALLY BEAUTY HOLDINGS INC	17	30	3,460	小売
ULTA BEAUTY INC	14	320	36,415	小売
CHURCH & DWIGHT CO INC	32	155	17,723	家庭用品・パーソナル用品
MEDIFAST INC	5	38	4,389	家庭用品・パーソナル用品
COTY INC-CL A	145	258	29,397	家庭用品・パーソナル用品
REVLON INC-CLASS A	19	43	4,972	家庭用品・パーソナル用品
UNIVAR INC	34	100	11,391	資本財
REGIS CORP	17	27	3,169	消費者サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	836 19	3,988 -	453,342 <34.7%>
(ユーロ…ドイツ)		千ユーロ		
HENKEL AG & CO KGAA VORZUG	14	167	22,471	家庭用品・パーソナル用品
BEIERSDORF AG	32	325	43,617	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	47 2	493 -	66,088 <5.1%>
(ユーロ…フランス)				
L' OREAL	29	550	73,682	家庭用品・パーソナル用品
INTERPARFUMS SA	31	108	14,517	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	60 2	659 -	88,200 <6.8%>
ユ ー ロ 計	株数・金額 銘柄数<比率>	107 4	1,153 -	154,288 <11.8%>
(イギリス)		千イギリスポンド		
UNILEVER PLC	49	205	31,260	家庭用品・パーソナル用品
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	30	202	30,877	家庭用品・パーソナル用品
CRODA INTERNATIONAL PLC	71	306	46,601	素材
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	151 3	714 -	108,739 <8.3%>
(スイス)		千スイスフラン		
GIVAUDAN-REG	1	365	41,835	素材
NOVARTIS AG-REG	17	143	16,444	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CLARIANT AG-REG	36	98	11,280	素材
DKSH HOLDING AG	18	154	17,700	商業・専門サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	73 4	761 -	87,260 <6.7%>

銘柄	株数	期末		業種等
		評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(ノルウェー) BORREGAARD ASA	百株 125	千ノルウェークローネ 910	千円 12,456	素材
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	125 1	910 — <1.0%>	
(オーストラリア) BWX LTD	76	千オーストラリアドル 50	4,339	家庭用品・パーソナル用品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	76 1	50 — <0.3%>	
(香港) L'OCCITANE INTERNATIONAL SA	1,060	千香港ドル 1,505	21,915	小売
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,060 1	1,505 — <1.7%>	
(タイ) BEAUTY COMMUNITY PCL-NVDR	1,970	千タイバーツ 3,940	13,711	小売
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,970 1	3,940 — <1.1%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	4,401 34	— — <65.6%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2017年12月11日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
株式	千円 1,214,738	% 86.5
コール・ローン等、その他	189,289	13.5
投資信託財産総額	1,404,027	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(857,612千円)の投資信託財産総額(1,404,027千円)に対する比率は61.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=113.65円	1 ユーロ=133.80円	1 イギリスポンド=152.29円	1 スイスフラン=114.52円
1 ノルウェークローネ=13.68円	1 オーストラリアドル=85.41円	1 香港ドル=14.56円	1 タイバーツ=3.48円

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年12月11日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,404,027,127
コール・ローン等	188,336,132
株式(評価額)	1,214,738,607
未収配当金	952,388
(B) 負債	99,079,542
未払解約金	99,079,289
未払利息	253
(C) 純資産総額(A-B)	1,304,947,585
元本	1,156,947,314
次期繰越損益金	148,000,271
(D) 受益権総口数	1,156,947,314口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,279円

<注記事項>

- ①設定元本額 297,000,000円
 期中追加設定元本額 953,593,506円
 期中一部解約元本額 93,646,192円
 また、1口当たり純資産額は、期末11,279円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)	621,303,780円
ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)	535,643,534円
合計	1,156,947,314円

○損益の状況 (2017年7月31日～2017年12月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,804,337
受取配当金	2,815,556
受取利息	525
支払利息	△ 11,744
(B) 有価証券売買損益	111,739,190
売買益	129,873,204
売買損	△ 18,134,014
(C) 保管費用等	△ 412,846
(D) 当期損益金(A+B+C)	114,130,681
(E) 追加信託差損益金	45,267,267
(F) 解約差損益金	△ 11,397,677
(G) 計(D+E+F)	148,000,271
次期繰越損益金(G)	148,000,271

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。